COMBI

コンビ

ラックCR

取扱説明書

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
また、開梱後も大切に保管してください。
※本品を友人などにお譲りになるときは、必ず本書も併せてお渡しください。

もくじ

お子さまの安全のために必ずお守りください。

お使いいただけるお子さまの年令は0～2才頃までです。

・首のすわらない0～2、3ヵ月頃まではおやすみ位置で使用してください。

上記の年令以外のご使用は予期せぬ事故を招く恐れがありますのでおやめください。

⚠警告

思わぬ危険を招く恐れがあります

- 必ず保護者の目の届くところで使用してください。
- 次のような場所では使用しないでください。
  - ストーブなど火気のそば
  - 落下物などの心配のある場所
- お子さまがラックの下にもぐり込まないよう注意してください。
- お子さまがラックを操作したり、動かすことはおやめください。
- 落下など強い衝撃が加わり、変形・割れ・部品破損が生じたラックは使用しないでください。

お子さまが落下する恐れがあります

- お子さまをラックに乗せるとき、股ベルトと腰ベルトは必ず使用してください。
- 各ベルトはお子さまの体に合わせてきちんと締めてください。
- リクライニング角度を変えたときは、そのつどベルトの長さを調節してください。
- お子さまが座面に立ったり、テーブルや手すりから身を乗り出さないよう注意してください。
- お子さまを乗せたままで、持ち上げて移動しないでください。
- お子さまが乗り降りするときは、必ず保護者が付き添ってください。

ラックが転倒しお子さまが落下する恐れがあります

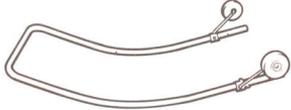
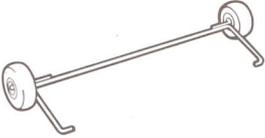
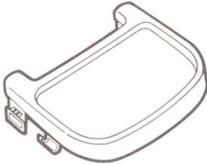
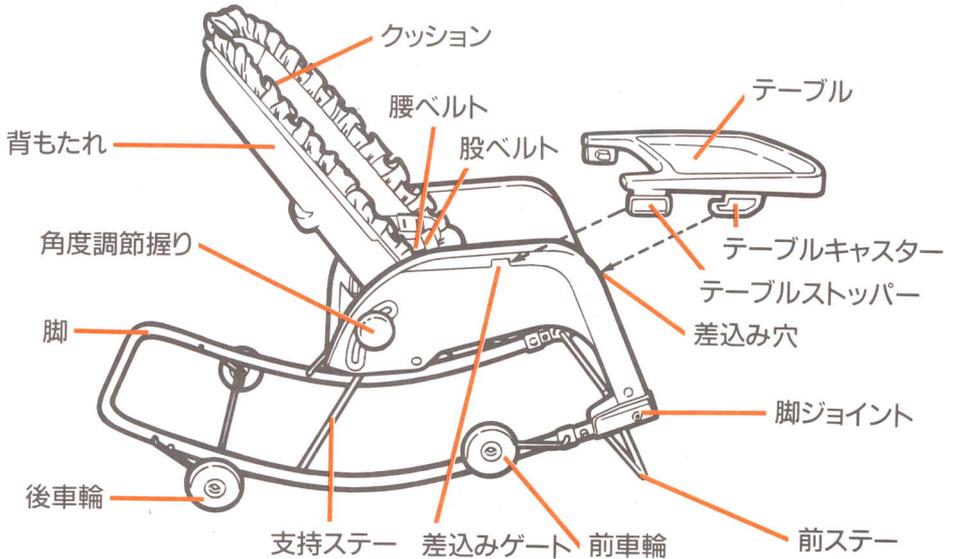
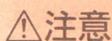
- 次のような場所では使用しないでください。
  - 階段のそば、段差、傾斜のある場所
  - タイル等すべりやすい場所
- 移動するとき以外は、必ず前ステーを引き出して固定状態にするか、ロッキング状態にして、簡単に動かないようにしてください。
- 二人以上のお子さまを乗せないでください。

⚠注意

思わぬ事故を招く恐れがあります

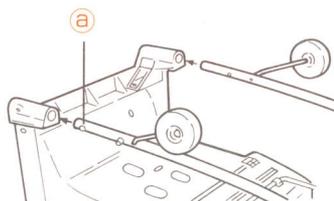
- リクライニングの調節をする場合は、必ず背もたれ上部の中央を片手でささえて操作してください。
- 角度調節の握りは、ゆるいまま使用するとスリップをおこし角度がずれることがあります。必ずしっかりと締めてください。
- クッションは必ず取り付けて使用してください。
  座面に穴等があり、お子さまが傷つくことがあります。
- お子さまを乗せる目的以外の使用はおやめください。
- ラックを改造したり、分解することはおやめください。
- 屋外での使用はおやめください。（風雨にさらさないよう注意してください。）

梱包部品　最初に全て部品が揃っているか、確認してください。

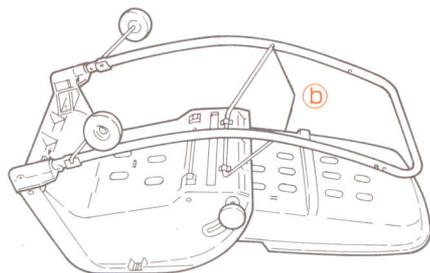
本体組み上がり (クッションを含む)……1個	前ステー……1個	脚組み上がり……1個
後車輪組み上がり……1個	テーブル……1個	取扱説明書……1冊

各部のなまえ

組み立てかた

⚠注意	•組み立てる部品は全て組み立ててください。 •取り付け用の穴で指などに傷害を与える恐れがあります。ご注意ください。

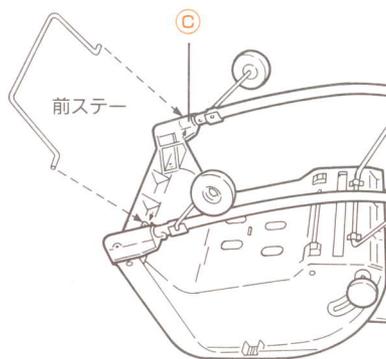
• まず最初に本体を裏返します

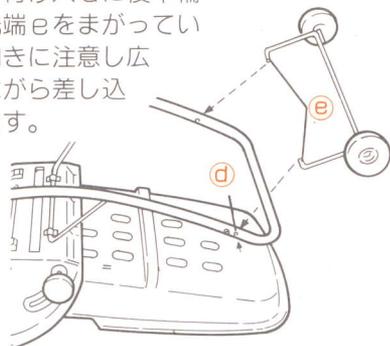
1 脚を本体へ取り付けます

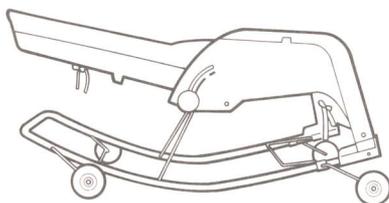
本体の前端にある脚ジョイントに、脚の先端にあるボタンaを押しながらパチッと音がするまで差し込みます。

確認
正しくセットされているか軽く引き確認してください。

2 支持ステーを取り付けます

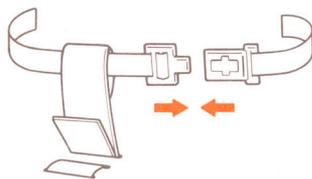
支持ステーを両側から軽く押しながら脚の取り付け穴bに先端を差し込みます。

3 前ステーを取り付けます

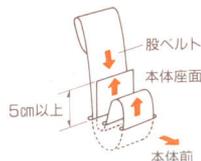
取り付け穴cに先端を差し込み取り付けます。

4 後車輪を取り付けます

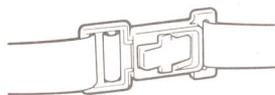
取り付け穴dに後車輪の先端eをまがっている向きに注意し広げながら差し込みます。

5 本体を表にします

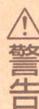
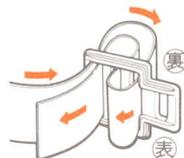
※テーブルとクッションの使用方法はp5「テーブルの取り付けかた」「クッションの取り付けかた」を参照してください。

各部の使いかた

ベルトの使いかた

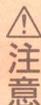
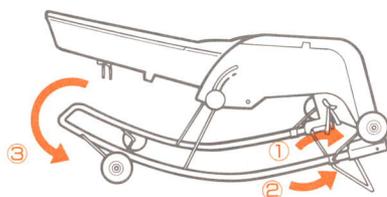
股ベルト上部の輪の中に腰ベルト（差し込み側）を通し反対側の腰ベルト（受け側）と結合させます。
確認：バックルの両側を軽く引き結合されているか確認してください。

股ベルトの長さ調節および取り付け方法

クッションを上げて股ベルトの長さを図のように調節します。
＊端末まで5cm以上余裕をもたせて調節してください。
＊調節後股ベルトを引き上げ、股ベルトが抜けないことを確認してから使用してください。

ベルトをはずすときは

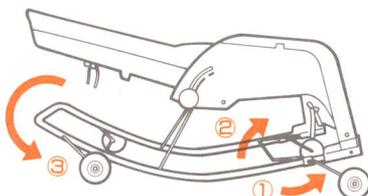
バックル（受け側）中央部を押し、バックル（差し込み側）を引き抜きます。

腰ベルトの長さ調節方法

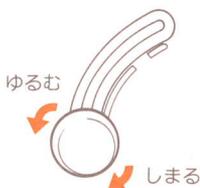
腰ベルトの長さを図のように調節し、左右の長さを同じにします。
※腰ベルトがバックルからはずれた場合図の矢印の方向に差し込み調整してください。

⚠警告
- リクライニングの角度を変えるとベルトの長さが変わります。そのつど調節してください。
- お子さまを確実にホールドするためにベルトは大人の親指が入るくらいの隙間をのこししっかりと締めてください。

本体を固定するとき

1. 前車輪を左右とも後方にまわし、ストッパーにあてとめます。
2. 前ステーをストッパーにあたるまで前方にまわします。
3. 後車輪を脚の後側を超えるようにまわし、脚の下側にセットします。

⚠注意
前ステー、後車輪、前車輪を動かす場合、脚と各部の間に指などを挟まないよう注意してください。

移動するとき

1. 前車輪を左右とも前方にまわし、ストッパーにあてとめます。
2. 前ステーを止るまで後方にまわします。
3. 後車輪を脚の後側を超えるようにまわし、脚の下側にセットします。

リクライニング角度調節のしかた

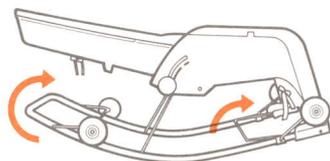
リクライニングの調節はグリップをゆるめ、任意の角度に動かし、しめるだけの簡単な操作でおこなえます。

お使いいただけるお子さまの年令は0～2才頃までです。
月齢ごとに下記のリクライニング角度位置でご使用ください。
- 0～2、3ヵ月頃まではおやすみ位置で
- 2、3ヵ月頃～5、6ヵ月頃まではおやすみからおあそびの間で
- 5、6ヵ月頃～2才頃まではゲップからおしょくじ・おあそびの位置で

上記の年令以外のご使用は予期せぬ事故を招く恐れがありますのでおやめください。

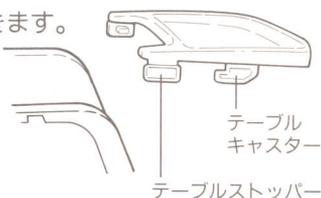
⚠注意	•リクライニングの調節をする場合は、必ず背もたれ上部の中央を片手でささえて操作してください。 •角度調節の握りは、ゆるいまま使用するとスリップをおこし角度がずれることがあります。必ずしっかりと締めてください。

ロッキングの使いかた

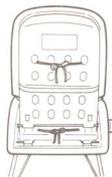
1. リクライニングの角度をロッキングの位置にしてください。
2. 図のように前後の車輪および前ステーを引き上げた状態にしてください。

- 上記の状態になりましたら手で軽くゆらしてください。

⚠注意	•お子さまの様子に気をつけ、適度にゆらしてください。 •背もたれの上部にお子さまの頭が当たる場合ロッキングでの使用をおやめください。

テーブルの取り付けかた

1. テーブル両サイドのテーブルストッパーを外側に引き出しておきます。
2. テーブルキャスターを本体の差し込み穴に差し込み、テーブルストッパー左右を押し込みます。
3. テーブルを軽く動かしてはずれないことを確認してください。
   テーブルをはずすときはテーブルストッパーを外側に引き出しテーブルを引き抜いてください。

⚠注意	•テーブルをはずしているときは､テーブルストッパーを押し込んでおいてください。 •はずしたテーブルはお子さまの手の届かない安全な場所に保管してください。 •お子さまが差し込み穴に指を入れないようにご注意ください。

クッションの取り付けかた

1. クッションを本体にのせ、腰ベルトと股ベルトを通します。
2. クッションの裏に取り付けてあるひもを本体に通し結びます。

⚠注意	•クッションは必ず取り付けてご使用ください。座面に穴等があり、お子さまが傷つくことがあります。

日常のお手入れのしかた

- テーブルや本体が汚れたときは、必ず薄めた中性洗剤かぬるま湯で拭いてください。腰ベルトと肩ベルトは水拭きしてから陰干してください。

⚠注意	・洗剤を原液のまま使用すると、本体がわれる恐れがあります。 必ず、薄めて使用してください。

クッションの洗濯方法

- クッションは洗濯機で洗うことができます（弱水流）脱水後、綿の片寄りを直し、日陰で平干してください。
- 漂白剤、ドライクリーニング、アイロンは使用しないでください。

クッション				
弱 30	ドライ	エンソサラシ	平	
洗濯水流弱	ドライクリーニング ×	漂白剤 ×	日陰干し	アイロン ×

■ ご使用期間のめやす ■

	0　3カ月　6カ月　9カ月　12カ月　24カ月　36カ月
●寝椅子（一番寝かせた角度で）	ベッド代りに　お昼寝程度に　○○○○○
●ゆりかご	ロッキング表示位置で　○○○○○
●遊び椅子	赤ちゃんが喜ぶ角度で　○○○○
●授乳の時	一番倒した角度で　○○○○
●ゲップの時	ゲップの表示角度で　○○○○○○○
●食事椅子	果汁・離乳食を快適な角度で　食事はおしょくじ表示の位置で　○○○○